

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

| | |
|---------|------------------|
| 報告日 | 平成 27 年 3 月 16 日 |
| 学校名 | 筑波大学附属大塚特別支援学校 |
| PTA 会長名 | 吉川 幸代 |

| | | |
|------|--|---|
| 実施概要 | 実施活動名 | にこにこひろば・乳幼児教育相談 |
| | 実施日時 | 平成 26 年 4 月 16 日 ～ 平成 27 年 3 月 4 日 毎週水曜日 10:30～12:00 (但し、第 5 水曜日と長期休業期間を除く。) |
| | 実施場所 | 筑波大学附属大塚特別支援学校幼稚部園庭および教室、会議室 |
| | 実施目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊び場の提供を通して、親子のかかわりを豊かにする支援を行う。 ・障害の有無にかかわらず、地域の同年齢の親子が交流し、ふれあうことで、特別支援教育についての理解を深める機会とする。 ・講演会や協議の場を設け、情報提供や情報交換を行うことにより、子育ての悩みや不安の解消への支援を行う。 ・仲間作りの場を提供することにより、子育ての孤立感や閉塞感を解消するための支援を行う。 ・支援が必要な親子については、早期療育、家庭支援、家族支援につなげる。 ・今年度より、毎回、障害のある乳幼児や発達に心配のある乳幼児の保護者を対象に教育相談を行う。(但し、12/5 のコンサート実施予定日を除く。) |
| | 実施内容 | ①園庭開放（遊戯室開放）：親子による自由遊び。 ②親子活動（歌・リズム遊び、運動遊び、水遊び、集まり活動等の設定） ③乳幼児教育相談、障害の理解と子育て講座、コンサート |
| | 実施方法 | 地域子育てひろばへのチラシ配布、ポスター掲示、ホームページ掲載による参加呼びかけ 設定活動の企画、運営。講座・コンサートの企画、募集、運営。 |
| 参加人数 | 就園前の親子 … 園庭開放・親子活動：各回 20～50 名程度、 講座等：30 名程度 | |

| | | |
|------|----|---|
| 報告事項 | 内容 | ①園庭開放（遊戯室開放）：親子による自由遊び。 毎週水曜日（第 5、休業中は除く）年間 31 回開催した。そのうち、6 月 7 日には園庭に簡易プールを設置して水遊び場の提供も行った。おおむね 10:45 までは遊戯室での自由遊び、10:45～11:15 の「あつまり」をはさんで、11:15～12:00 に園庭での自由遊びを行った。 ②親子活動（「あつまり」の設定活動に参加） 毎回「あつまり」という小集団の活動を設定し、歌遊び手遊びを中心とした親子遊びを行った。幼稚部在籍幼児が毎日行っている「あつまり」の枠組みに在籍幼児とともに参加することで幼児にとってわかりやすく、自発的に参加できる小集団参加の機会となった。 ③障害の理解と子育て講座、コンサート 8 回の子育て講座を開催。12 月には歌のお姉さんをお招きしてのミニコンサートを開催。 |
| | 結果 | 昨年度に引き続き、学校が地域に開かれたものとして、魅力的な遊具のある幼稚部施設（園庭及び幼稚部教室）を地域の方々に利用していただき、子育て支援の一助となることをめざして実施している。今年で 10 年目を迎えた。参加する乳幼児の年齢は 0 歳～5 歳で、必要に応じて幼稚部スタッフが子育て相談や発達相談に応じた。特別な支援や配慮が必要な場合は、継続的に教育相談を行い、専門機関を紹介するなど、早期の支援につなげている。 近隣の子育てひろばや保健センターなどに案内のチラシを配付し、HP でも取り組みの紹介を行い、実施計画通り、年間 31 回の「にこにこひろば」と年間 8 回の子育て講座を開催することができた。「にこにこひろば」は、各回 10～25 組の親子（計 20～50 名程度）にご利用いただき、子育て講座も各回約 30 名のご参加をいただいた。 |

| | | |
|------|----------------------|---|
| | 所感 | <p>子育てに関する不安や悩みは、どの家庭・親子にも存在するものである。子どもの発達に心配があるなしにかかわらず、より包括的に子育て支援を考えていくことの重要性をあらためて感じるとともに、様々な形での取り組みを振り返りつつ、今後も改善・進化させていきたいと考えている。</p> <p>週に一度の「ひろば」であるが、異年齢の子どもたち同士の間と一緒に遊ぶ友だちとして、仲間意識が芽生え、かかわりや遊びに広がりが見られた。また、保護者同士の間でも子育てについての情報交換がなされたり、互いに励まし合ったりするようなポジティブな連帯感が育まれてきたように思われる。今年度の「ひろば」や講座を土台にして、次年度も親子みんなに元気を与えられ、主体的に子育てに向かえるような取り組みへと結びつくよう努めていきたい。</p> |
| 添付書類 | 参加者（保護者）の声、写真集、収支決算書 | |

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

| | |
|-----|------------------|
| 提出日 | 平成 27 年 3 月 16 日 |
| 学校名 | 筑波大学附属大塚特別支援学校 |
| 氏名 | |

【参加者のご感想】

- ・いつも とても楽しみにしています。手遊び、お歌、遊具も充実していて、いろいろ好奇心もわいてくるみたいです。初めての水遊びも おそろおそろ挑戦していました。いい経験をさせていただいています。
- ・毎回本当に楽しませていただいています。こんな場所を見つけてラッキーだと思っています。
- ・先生方がとても優しい。子どもに同じ目線で声をかけて下さるので、とても安心する。
- ・とても良いです。周囲の方にもすすめています。ただ、あまり周囲の方にすすめると、本当にこのひろばを必要としている親子さんたちが混んで入りづらくなるかも…と思って、少し悩みます。療育に通っている少し知的な遅れがあるお友だちには積極的にすすめています。そのお友だちもうちも少し遠いので、来るのが大変ですが…。
- ・いつもプロの方だなと、ありがたく思っています。
- ・歌の時間もあり、友だちとの時間もつくれて、良い経験ができています。
- ・うちの子 マイペースですが、毎回楽しませていただいております。
- ・毎週楽しみに伺わせてもらっています。
- ・先生方も みなさんニコニコと話しかけてくださり、とてもよい雰囲気です。
- ・来校前に電話してみたが、その対応がとても親切だった。
- ・講演会に来て、よかった。
- ・ここは先生たちが温かくて良い。平等にみてる。それは他のお母さんたちも言っている。
- ・少し家が遠いから、どうしようかと迷っていたが、来てみたら意外と平気だった。
- ・子どもが楽しく遊べる。今の子どもの年齢にちょうどよい。
- ・園庭で遊べるのが良い。遊具がたくさんある。
- ・手遊び等のプログラムが充実していて、楽しめる。
- ・児童館のプログラムより、しっかりとしたプログラムが組んである。
- ・保護者向けの子育て講座があるのがよい。
- ・内容がしっかりしている。(歌、体を動かすリズム遊びなど)
- ・座って聞かせる練習になる。
- ・砂場が魅力的で、遊具がよい。
- ・手遊び歌や歌遊びなどを ピアノを聞きながらできるのがよい。
- ・先生たちがみんなに声をかけてくださる・対応がよい。

【参加者のご要望】

- ・見ていて気づかれたことがあれば、どんな小さなことでもアドバイスいただくと、自分でわからないこと・気づかないことだらけなので嬉しいです。
- ・特にありません。今でも充分です。
- ・今後も定期的に遊具で遊ばせていただくと嬉しいです。先生方の話しかけをととても喜ぶので、今後とも話しかけてくれると嬉しいです。
- ・週1回とは言わず、回数を増やしてほしい。
- ・ひろばに参加することで、必要時に相談にのってもらえそうなので、安心感があります。
- ・週1回が少ないので、もう少し増えれば嬉しいです。
- ・名札をクリップみたいなもので付けられると嬉しいです。気兼ねなく子どもが付けられるように…。
- ・回数を増やしてほしい。
- ・今すごく楽しいので、特にない。
- ・工作遊び等、何か作る活動もできるといいかな…
- ・同年代(子ども同士)でのかわり・遊び・学習などを加えられるとよいと思う。
- ・体操など、身体を動かす遊びや体育の遊具などを取り入れた遊び → 跳び箱、トランポリン、けんけんぱ 等



みんなで「あつまり」名前呼び



歌遊び「動物さんのごあいさつ」



歌遊び～セタスティックお片付け



エプロンシアター「大きなかぶ」



コンサート～歌おう♪踊ろう！！



♪サンタさんたちといっしょに♪



～ママと手遊び歌 たのしいな～



キラキラダンスでウキウキ♪